

えんちょう先生の わくわくだより

NO. 13 H29. 9.



げんきでね
さようなら～

みんなで幼虫から育てた
かぶと虫とも、お別れです。



年中さんが、8月の誕生会。元気に踊りながら「君と僕の間に」を歌ってくれました。



9匹貰ったお蚕さんの幼虫が、さなぎから成虫、そして卵を産んで、こんなに沢山の繭玉を作りました。先生達は、桑の葉探しに大忙し。みんなでいい学びが出来ました。

吹く風も、心なし秋の訪れを感じる二学期の始まりです。熱中症が心配で、控え気味だった朝の園庭遊びも、子ども達の走り回る姿に活気の出た岩村こども園です。

幼児コースの子も揃って さあ、二学期も張り切って過ごしましょう。プール遊びで鍛えた身体で、今度は運動会に向けた取り組みが始まっていきます。園で、午前中の遊びに元気に取り組めるかどうかは、早寝、早起き、朝ごはんにかかっています。特にこれからは、運動量も増えていきますので、「よし、やるぞ!」の前向きな気持で頑張れるように、お家での応援をお願いしますね。

さて、先日のテレビでも、今 全国的に遊具での事故がとても多いと報じていました。フードの付いた服のヒモが滑り台にひっかかったり、縄跳びを持って登った滑り台で首が絞まった状態に・・・カバンを背負って登ったジャングルジムにかばんがひっかかり足が滑って・・・又、女の子のレースのついたひらひらしたスカートが、ひっかかる事も多いとの事です。園でも子ども達には、そうした危険について重々、話聞かせている所です。よって、園での生活は、活動のし易いTシャツと、ショートパンツの様な服装が一番いいかと思えます。又、園には0. 1. 2才の小さい子も多くいます。早朝、延長の時間には大勢の子が入り混じっていきますので、髪留め、髪を縛るゴム、キーホルダーなど小物が落ちていると、ついわからない所で口に入れてしまうと言う事も起こりがちですので、極力、そうした飾りは家で付ける様にご協力をお願い致します。戸外、室内共に危険には十分に気をつけながら、楽しい園生活を送っていきたくと思います。活動し易い秋、運動や遊びで、気持と身体を鍛える秋でもあります。お家の皆様も、夏ばてなど体調管理に気を付けながら、秋に向かって下さいね。



2才児ウサギ組の子ども達。毎日、先生に作ってもらって鳴らして遊ぶ紙鉄砲、見ている内に、「私も折っちゃおう!」

こども達はこの絵本が大好きです。40歳を超える私の子どもにも読んでやった事を思い出します



大豆生田 啓友

玉川大学教授

今回は、名作「どろんこハリ」(ジーン・シオン マーガレット・ブレイ・クレナム 絵 たなべしげお訳 福音館書店)の写真を、子どもたちが、何度も何度も「これ読んで」と言ってくる絵本です。時代が変わっても人気は変わりませ

犬のハリはお風呂が嫌い。外に逃げ出し、思い切り遊んで、泥だらけになってしまいました。「くさい臭いがある」とやっ

たというお話です。子どもたちは、泥んこ遊びが大好きです。あまり外遊びをしない子も、最初は最初、泥んこ遊びをすることに抵抗を示します。でも、他の子がしていることに魅力を感じ、次第にその遊びに引き込まれていきます。

「どろんこハリ」は、たこのお話です。子どもたちは、泥んこ遊びが大好きです。あまり外遊びをしない子も、最初は最初、泥んこ遊びをすることに抵抗を示します。でも、他の子がしていることに魅力を感じ、次第にその遊びに引き込まれていきます。

「どろんこハリ」は、たこのお話です。子どもたちは、泥んこ遊びが大好きです。あまり外遊びをしない子も、最初は最初、泥んこ遊びをすることに抵抗を示します。でも、他の子がしていることに魅力を感じ、次第にその遊びに引き込まれていきます。

次回は6月12日付掲載

絵本で伝わる 保育・子育ての エッセンス 49



てくれません。さまざまなきずをやって見せてもダメでした。そこで、ブラシをくわえて家の中に入り込んで、お風呂に飛び込んで、家族に洗ってもらおうと「ハリだ、ハリだ」

どが多い子の中には、泥んこ遊びを好んで毎日する子もいるようです。まるで、秩序立てたことばかりで、がんじがらめに縛られた生活から解放されることを求めるように。泥んこ遊びは、まさに混沌の世界に自分を投げ込む行為だと思います。多くの子は「ぐちゃぐちゃ」

混沌から秩序を見いだす

習活動を始めたとき、チームワークを発揮した学

◆恵那市では、運動プロジェクトより、ジャンピングマット、二人用鉄棒、パカポコポコ、オレンジスラックロープ、ベースボールトレーナーなど、身体の色んな機能を発達させる遊具を頂きました。遊戯室に置いてあり、子ども達はとても喜んで、遊んでいます。小さい未満児組の子も、ピョンピョン跳んだり、ぶら下がったりと大喜びです。室内外の色々な遊具も使いながら、乳幼児期に必要な運動や遊びを、どんどん取り入れていきたいと思っています。

ポエム

わたしと小鳥とすずと

みずぶさんは、なんてステキな言葉をのこしてくれたのでしょうか。大きいもの、小さいもの、力の強いもの、力の弱いもの、有名なもの、無名なもの、みえるもの、みえないもの、すべてが尊いということです。一人一人がみんな大切な存在だということです。学校でも職場でも自分の心と一番遠い人に一番心を飛ばす事が大事なんです・・・ある評論より



わたしが両手をひろげても
お空はちっともとへないが
とべる小鳥はわたしのよう
地面をはやくは走れない

わたしがからだをゆすっても
きれいな音はでないけど
あの鳴るすずはわたしのよう
たくさんなうたは知らないよ

すずとことりと それからわたし
みんなちがって みんないい

金子みすゞ

一九〇三年山口県に生れた本名金子テルは本を読む事が好きな少女として育ち、二十六歳という短い生涯を童謡詩人として生き抜きました。この詩も金子みすゞさんの代表作です。